

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の705億697万4千円に比べ、85億8,294万8千円、12.2%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	平成21年度 当初予算額 (A)	平成20年度 当初予算額 (B)	比較	
			増減 (A) - (B)	伸び率 (A) - (B) / (B)
病院事業	22,648,778	21,938,451	710,327	3.2
水道事業	22,808,749	33,155,954	△10,347,205	△31.2
工業用水道事業	12,055,710	10,986,115	1,069,595	9.7
電気事業	4,410,789	4,426,454	△15,665	△0.4
合計	61,924,026	70,506,974	△8,582,948	△12.2

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営し、県民の健康で文化的な社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めています。

ア. 業務の予定量

- (ア) 病床数 1,286床
(イ) 患者数

	年間	1日平均
入院患者数	337,510人	925人
外来患者数	313,059人	1,294人

イ. 収益的収支 収入 17,026,330千円 資本的収支 収入 3,274,911千円
支出 18,994,493千円 支出 3,654,285千円

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益131億4,016万円、他会計補助金、負担金などの医業外収益38億8,617万円です。

一方、収益的支出は、職員給与費100億1,921万3千円、薬品費などの材料費32億8,112万7千円、事業運営経費31億3,093万9千円、施設・器械備品などの減価償却費13億7,406万5千円等の医業費用178億9,538万6千円、支払利息などの医業外費用9億6,420万3千円、及び退職給与引当金に係る特別損失1億3,490万4千円です。以上の結果、収支差引で、19億6,816万3千円の当期純損失を計上しております。

次に、資本的収入は、企業債21億6,800万円、県費負担金8億1,898万1千円、他会計長期借入金1億8,793万円、固定資産売却代金1億円です。

一方、資本的支出は、こころの医療センターの病院増改築工事費4,414万9千円、各病院の医療機器購入など資産購入費3億5,851万8千円、企業債償還金32億181万8千円、看護師等修学資金貸与費に係る長期貸付金4,980万円です。

平成21年度の事業運営につきましては、平成20年度における取組を総括した上で、平成21年度にかかる各県立病院の重点取組等を取りまとめた「当面の運営方針(21年度)」に従って運営を行います。また、医師・看護師の不足が深刻な状況にあるため、確保定着に関する取組を積極的にを行います。

(2) 水道事業会計

水道事業は、津市、松阪市を対象とした北中勢水道(中勢系:施設能力1日最大給水量140,216m³)、四日市市、桑名市及び鈴鹿市を含む3市4町を対象とした北中勢水道(北勢系:施設能力1日最大給水量137,700m³)、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市4町を対象とした南勢志摩水道(施設能力1日最大給水量169,150m³)による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。また、平成21年4月から伊賀市を対象とした伊賀水道(施設能力1日最大給水量28,750m³)の給水を開始しました。

北勢地域の水需要に対応するため、長良川河口堰を水源とした北勢広域水道拡張事業を実施します。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 84,102,890m³

1日平均給水量 230,418m³

イ. 収益的収支	収入	12,716,581千円	資本的収支	収入	6,228,379千円
	支出	11,118,624千円		支出	11,690,125千円

収益的収入は、給水収益123億3,039万9千円とその他営業収益を合わせた営業収益123億3,389万2千円及び一般会計補助金2億9,381万5千円等の営業外収益3億8,268万9千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用90億2,121万7千円と支払利息等の営業外費用20億4,097万7千円が主なものです。以上の結果、収支差引15億9,795万7千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、北勢広域水道拡張事業等に充当する企業債34億2,220万円や一般会計出資金23億8,288万5千円及び国庫補助金4億2,329万4千円です。

資本的支出は、北勢広域水道拡張事業等の建設改良費41億2,815万2千円と企業債等の償還金75億6,197万3千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道の改良事業のほか、北勢広域水道拡張事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備改良工事	H21	2,383,772	2,383,772	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H21	398,721	398,721	既設施設の改良
北勢広域水道拡張事業	H10～22	35,736,002	1,181,221	目標日量18,000m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 95社
- (イ) 年間総給水量 228,544,840m³
- 1日平均給水量 626,150m³

イ. 収益的収支 収入 6,768,906千円 資本的収支 収入 2,963,654千円
支出 6,326,124千円 支出 5,729,586千円

収益的収入は、給水収益59億4,034万4千円とその他営業収益を合わせた営業収益66億5,516万4千円と受取利息等の営業外収益1億1,374万2千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用51億6,920万9千円と支払利息等の営業外費用7億4,248万3千円が主なものです。以上の結果、収支差引4億4,278万2千円の利益を計上しました。

次に資本的収入は、一般会計出資金13億4,617万7千円や企業債13億1,250万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費26億6,281万4千円と企業債等の償還金30億6,677万2千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H21	140,430	140,430	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H21	1,412,050	1,412,050	既設設備の改良
北伊勢工業用水道第二次改良事業	H21～H28	11,700,000	509,000	既設設備の改良
多度工業用水道改良事業	H21	85,881	85,881	既設施設の更新

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第1、第2、第3、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において水力発電を、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電をそれぞれ行っています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 353,102,694kWh

イ. 収益的収支 収入 3,304,149千円 資本的収支 収入 56,647千円
支出 3,747,063千円 支出 663,726千円

収益的収入は、電力料24億2,090万2千円等の営業収益24億2,266万6千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益8億5,771万3千円及び受取利息2,376万7千円等の営業外収益2,377万円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用21億4,754万円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用13億3,210万5千円及び支払利息等の営業外費用2億6,541千8千円が主なものです。

以上の結果、収支差引4億4,291万4千円の損失を計上しました。

次に、資本的収入は、長期貸付金償還金5,664万7千円です。

資本的支出は、宮川第3発電所改良事業等の建設改良費1億822万7千円と企業債の償還金5億5,549万9千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業を実施することになっています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
宮川第3発電所改良事業	H21	48,735	48,735	既設発電所の設備改良

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。